

「上方講談 難波戦記」が、YES-fmで聴ける

大阪府中央区のコミュニティFM、YES-fm 78.1MHzで、2018年10月より、毎週土曜日 深夜1時からの番組「関西演芸百選」で、「上方講談 難波戦記」を放送。口演は、講談師の旭堂南海さんです。



【聴き方】 大阪市内からは、ラジオのチャンネルを直接 YES-fm の 78.1MHz に合わせて下さい。インターネット（スマホも！）の場合は、ホームページ www.yesfm.jp で「YES-fm について」を開き、番組を楽しむには！・・・をご覧いただき、サイマルラジオや ListenRadio のアプリよりお楽しみください。

続き読み

土曜日 深夜1時になると「上方講談 難波戦記」が聴ける

「上方講談 難波戦記」の中で続き読みする「難波戦記」の聴きどころ

放送月	内 容（聴きどころ★）
10月	関ヶ原の合戦に勝利し、幕府を開いた大御所家康は、目の上のたんこぶである豊臣家を潰すために、様々な策略を用いる。その策略のため、執権片桐且元は失脚し、加藤清正は毒殺される。大坂冬の陣がなぜ巻き起こるのか？ その詳細な理由付けが、難波戦記冒頭の聴きどころである。
11月	幸村を徳川方になびかせようとする家康は、信濃一国を条件に、幸村の叔父信尹を懐柔役として幸村の元に向かわせる。それを逆手に取った幸村の捨身の計略とは・・・。冬の陣を読み始めるまでに、どれほどの時間を費やすのか！ 単なる軍記物でないこの物語の真骨頂！
12月	軍功を上げ、「利」を求めために集まった徳川の軍団。それに対し「義」一文字の旗印の元に結集した豊臣のつわもの達。「利」とは戦国武将の、「義」とは平和な徳川中期（難波戦記完成期）武士のイデオロギー。この対立軸に想いをはせながら、冬の陣緒戦を楽しみたい。
1月	豊臣方のスーパーヒーロー木村重成、鳴野今福の合戦に登場！ 講談の醍醐味、修羅場読みにも継ぐ修羅場読みのリズムに乗って、重成が縦横無尽に戦場を駆け巡る！ ダイナミックで、かつソウルフルな講談独特の語り口調を十二分に満喫できるのが、この1月である。
2月	遊郭に入り浸っていたため戦場に遅参したとされる豪傑薄田隼人。この物語では、豊臣方に巢食う古き権力を浮き彫りにするため、織田有楽斎親子に謀られて戦場に遅参した、とする。敵徳川よりも厄介な、豊臣内部の悪しき権力の描写。複雑な心理描写が秀逸である。
3月	史実としての真偽が非常にあやしい黒門口の合戦。史実の冬の陣は、徳川方が最新の大砲を駆使した物量戦であったが、この物語では、敢えて徳川方に大砲はなく、幸村の知略が活躍できる舞台設定としている。黒門口の合戦は、まさに幸村知略の聴きどころである。
4月	敗戦続きの徳川家康は遂に朝廷を動かし偽りの「和睦」へと持っていく。その折の木村重成「血判見届け」は実に胸のすく聴きモノ。しかし、難攻不落を誇った大坂城の堀は埋められ、老獺な家康は新たな戦いを画策…「夏の陣」を予想させる胸騒ぎ充滿の1月である。
5月	元和元年5月、遂に「夏の陣」開戦。今は必死の豊臣方。木村重成、長宗我部盛親は「若江」「八尾」で大軍に立ち向かう。そして後藤又兵衛は影武者に戦場を任せて姿を消す…一体、何処へ行ったのか？ 豊臣鼻頂「難波戦記」の醍醐味が詰まった5月を聴き逃すな！
6月	勝利を確信した家康は平野へと進む。しかし、そこには真田幸村の仕掛けた地雷が…家康は南へと逃れるが…遂に堺の地でアノ豪傑に…ココを聴き逃す事勿れ！ 翌日、幸村は秀頼公をお連れし、抜け穴を通り新天地へ…驚くべき最終回っ！ これぞスペクタクルッ！ ←最終回は7月に放送予定



企画制作・著作：株式会社石津事務所
 奈良市富雄元町2丁目3-8-306 ☎0742(77)8803
 続き読み講談 * のこし隊のホームページ <http://www.welovekoudan.com>

